

令和8年度 学校関係者評価報告書

学校法人Dot学園
京葉介護福祉専門学校

○2026年度 学校関係者評価

1. 学校関係者評価委員会 開催日時および会場

- 日時: 2026年(令和8年)6月30日 15:30～17:00
- 会場: 京葉介護福祉専門学校 2階 介護実習室

2. 学校関係者評価委員会 出席者(計13名)

区分	人数・内訳
学校関係者評価委員	11名
学校教職員	2名(学校長 川端、副校長 土屋)

3. 委員会の概要

冒頭に学校長より、学校行事の拡充方針、ならびに学生からの意見収集の重要性に関する説明が行われた。これを受けて、学生の意見を反映した行事のあり方や、校友会による行事費支援について協議がなされ、学校関係者評価委員による多角的な評価および意見交換を実施した。

4. 学校の教育目標

本校は、学校教育法の理念に則り、高等学校教育を基盤として、介護福祉領域における高度な専門知識と実践的スキルを習得させるとともに、豊かな人間性や社会生活に必要な能力を育み、地域社会に深く貢献できる人材を育成することを使命とする。

5. 学校運営上の課題および解消計画の概要

【課題(不足点)】

- 学生の社会性、ルール、マナー遵守の徹底が急務である。時間を守れないことや、「報連相（報告・連絡・相談）」ができないことは、学生の将来のキャリアにおいて大きなデメリットとなるため、早急な改善が求められている。

【解消に向けた計画概要】

- 教員から学生に対し、継続的かつ明確な言葉で、社会性やマナーに関する指導を徹底する。
- 日常的な学校生活の中でルール遵守と報連相の習慣化を図り、将来の職業人としての基盤を構築する。

6. 自己点検内容に関する説明および質疑応答

学校長からの説明後、以下の内容を中心に質疑応答および意見交換が行われた。

1. 学校行事の拡充と学生意見の反映について
より充実した学校生活を提供するため、学校行事を拡充させる方針が示された。その際、教員主導ではなく、学生からより多くの意見を収集し、行事の企画・運営に反映させることが重要であるとの認識で一致した。
2. 校友会からの支援について
拡充される学校行事の実施にあたり、必要な行事費等について校友会から支援が行われる旨が報告された。これにより、学生の負担を増やすことなく、質の高い行事の実現が可能となる。
3. 学生募集の進捗について
留学生の募集については、昨年度の3倍の人数からエントリーが寄せられており、昨年度と比較して日本語能力および社会性が高い層が集まっているとの良好な進捗が報告された。なお、日本人学生の募集については昨年度と同数の推移となっている。
4. 学生への社会性・マナー指導について
課題として挙げられた学生のルール遵守や報連相の不足に関し、委員からも懸念が示された。現場で求められる社会性を身につけさせるため、教員が明確な言葉を用いて継続的な指導を行う方針が確認された。

7. 総括

本会の結びに、学校長より総括が行われた。今後の展望として、校友会の会員（京葉介護福祉専門学校OB・OG）と在校生との関わりをより一層増やすことが提案された。卒業生からのサポートを通じて、在校生が就職後のイメージを明確に持てるような体制づくりを進めていきたいとの意向が示され、賛同を得た。

本会は17時00分をもって閉会した。